

京 機 会 ニ ュ ー ス

No.5 平成11年（1999年）9月25日

京 都 大 学 機 械 系 工 学 会

事務局：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻
Tel.075-753-5183, Fax.075-771-7286, E-mail: keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp
<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>



学生と先輩との交流会のひとコマ (cf. p.2 に関連の記事)

《会告》	2頁	悟美会(今秋)開催のお知らせ	9頁
平成11年度京機会秋季大会のご案内	2	平成11年度泰山会開催のご案内	9
平成11年度京機会評議員会・ 春季大会・総会の報告	2	昭和43年卒同窓会	9
平成11年度京機会役員	3	1970年卒同期会のお知らせ	9
関西支部の設立について	4	旧塑性工学研究室同窓会	9
関西支部設立に際しての会長からの祝辞	5	伝熱工学研究室OB会のご案内	9
関西支部「異業種交流会」、 「産学交流会」のご案内	5	昭和25年卒業同窓会『五十年会』 名称の由来	10
インターネット京機会ホームページのご案内	7	《教室から》	11
《会員のページ》	8	京都大学機械系工学教室	
京機九日会午餐会のご案内	8	第二世紀記念式典のお知らせ	11
京機21会の諸行事	8	教官の異動	11
五十年会第53回例会報告	8	学生の就職内々定状況(統計)	11
		編集後記	12

平成11年度京機会秋季大会のご案内

標記の大会を下記のとおり開催します。ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時：平成11年11月18日(木) 13:00～
(食事はあらかじめお済ませ下さい)

会場：松下電器松心会館
(大阪府門真市中町1-19, 京阪電車 門真駅徒歩5分, Tel.06-6907-4812)

行事:

1. 挨拶および松下電器産業(株)会社概要説明
松下電子部品(株) 13:00～13:15
佐藤尅朗 氏 (S42)
 2. 特別講演
欧米産業の動向と日本産業の進むべき道
元 松下電器副社長
現 松下電器顧問, 高知工科大学教授, スタンフォード大学顧問教授
水野博之 氏 (S27京大理学部卒) 13:15～14:45
 3. 技術講演
(1) 光ディスクに於けるファイン加工技術
松下電器産業(株)生産技術研究所 藤田佳児 氏 (S56)
(2) 携帯電話に於けるファイン回路実装技術
松下電子部品(株)開発技術センター 東谷秀樹 氏 (H5)
(3) 高速通信技術とネットワーク
松下電器産業(株)マルチメディア開発センター 布施 優 氏 (S61京大電子工学科卒) 14:45～15:45
 4. 松下技術館見学
(バスで送迎いたします) 16:00～17:15
 5. 閉会
- 懇親会 17:30～19:30
会場 松下電器松心会館
会費 7,000円 (当日同会場でお支払い下さい)

○ 10月15日までに、同封のはがきで、ご出欠のご回答をお寄せ下さい。

平成11年度京機会評議員会・春季大会・総会の報告

0. 平成11年度評議員会

京機会春季大会・総会に先だって、11:00より評議員会が開催された。矢部教授が京機会のこの一年間の活動報告をしたのち、自由な話し合いが持たれた。50歳以下の同期会が活発でないことなどが議論された。

来春には、3年ごとに発行の京機会名簿を作成する

ので、評議員各位には各学年の名簿の修正にご協力下さい。また、学年ごとのホームページをご利用下さい。

1. 学生と先輩との交流会

社会で活躍する機械系工学の先輩と在学生とが接触する機会を設けることを考えて、標記の会を企画した。京機会の先輩の多い会社40社に参加をお誘いしたとこ

ろ計34社から60名の卒業生が参加し、また、在生も(主催者側発表で)約300名が参加した。学生には、先輩の声を通して、会社や業界のようす、日々の仕事のやりがいなど、就職のための会社訪問ではなかなか聞けないようなあたりを含めて、話ができたようで、好評であった(cf. p. 1 扉の写真)。

幹事会では、'今後にもこの企画を'という希望が強かった。ご関心の会社さんには、本年内くらいをめどに本会事務局にご連絡を。

2. パネル討論会 「新規事業の創設」

新しい企画として、パネル討論会「新規事業の創設」が持たれました。パネラーとして、新規事業に投資する佐々木美樹氏(S48, 日本アジア投資(株)常務取締役)、新規事業を興した伊奈一雄氏(S45, セイコーセイキマイクロプレジジョン社長)、大学での研究成果を新規事業に転用した松久寛氏(S45, 京都大学工学研究科教授)が、それぞれ本音の話をおもしろく語り、おおいに盛り上がりました。この話は若い人に聞いて欲しかったのに、若い人の参加が少なく(従来よりは多かったが)残念です。

3. 講演会 「エネルギー資源とその有効利用」

京都大学エネルギー科学研究科教授
塩路昌宏氏(S50)

各種炭化水素資源とその埋蔵量、1次エネルギー需給の推移、エネルギー消費分野およびフローなどについて、現状と将来の見通しが述べられた。メタンハイドレートへの期待はあるものの、未来にわたる新エネルギーの展望が得られるまでは限られた資源の有効利用が必須であり、とくに熱エネルギーを効率的に利用する方策を見出さねばならない。この視点から、各種燃焼・動力システムの熱効率の現状と高効率化の試みについて、コンバインドサイクル、コージェネレーション、高効率ガスエンジンの例のほか、自動車用エンジンの燃費向上、代替燃料、ハイブリッド化などのトピックスが紹介され、燃焼システムのニーズとシーズがまとめられた。

4. 平成11年度総会

講演会に引き続き、同会場で、平成11年度京機会総会が開催された。

(1) 平成10年度会計報告の件: 塩路幹事から会計報告、植木監事からの監査報告があり、了承された。

(2) 役員改選の件: 平成11年度の役員として、

会長 嶋本 讓氏(S29)

副会長 西八條 實氏(S20)

小澤三敏氏(S33)

矢部 寛氏(S35)

を選出した。京機会の運営の主体として、会長、

副会長ならびに会長指名の学内外の幹事による幹事会を構成して取り組んでいることの説明があった(cf. 下記の役員名簿)。

(3) 支部設立の件: 地域に密着した活動を行うことによって、京機会をより活発な組織にすべく、全国的なレベルで支部を設立することとし、まず、関西支部を先行して設立することが提案され、了承された。

(4) 機械系工学教室第二世紀記念事業会からの挨拶: 事業会実行委員会の駒井委員長から、事業に対する醸金のお礼と、現在、企業からの醸金をお願いしている段階にあり、一層のご支援をお願いしたいとの挨拶があった。

(5) 副会長挨拶: 小澤副会長から、「京機会を始め、変革のための努力をしている大学の今後に期待する。'産学'ではなく'学産'の形で発展があるように。」との挨拶があった。

5. 関西支部設立総会

関西支部の設立総会が開催され、支部活動の趣旨や支部役員が決められた。pp. 4-7に詳しく紹介する。

6. 懇親会

京大会館で懇親会が開かれた。参加者81名。乾杯の前に、本大会の参加者は146名を数え、最若手は平成9年卒、最長老は昭和10年卒、その幅なんと62年、という紹介があった。

平成11年度京機会役員

(敬称略)

会長 嶋本 讓(S29, 滋賀県立大学教授)

副会長 西八條 實(S20, (株)島津製作所相談役)

小澤三敏(S33, 住友重機械工業(株)会長)

矢部 寛(S35, 京都大学教授)

評議員(年度別幹事)

S22 岸本雅夫(京都)

S25 森川龍一(大阪)

S26 岡田守夫(兵庫)

S28 寺谷忠郎(広島)・西田 弘(大阪)

S29 青木 誠(大阪)

S31 永井 将(兵庫)・東 良学(大阪)

S32 河本恭爾(大阪)・坂戸瑞根(兵庫)

S33 岸本秀弘(愛知)・蛭川 昌(大阪)

S34 大泉治朗(大阪)・川口東白(山口)

S35 太田脩二(埼玉)・松木健次(奈良)

S36 宮下直也(東京)・四方光夫(大阪)

S37 木谷謙一(兵庫)・三木好信(兵庫)

S38 中川 哲(東京)・安江彰治(大阪)

- S 39 岸田 尚 (兵庫)・澤田邦昭 (大阪)・
長井俊彦 (兵庫)
- S 40 荒川義光 (愛知)・平 邦昭 (愛知)・
柳井 誠 (東京)
- S 41 古池治孝 (兵庫)・豊田洋民 (千葉)・
中垣邦弘 (神奈川)
- S 42 有光秀雄 (米田)・中村 颯 (京都)・
平尾 隆 (東京)
- S 43 宇野義幸 (岡山)・江藤孝治 (千葉)・
山中 猛 (滋賀)
- S 44 神田 剛 (兵庫)・並木宏徳 (大阪)・
二井内親兵衛 (埼玉)
- S 45 各務嘉郎 (奈良)・阪口喜好 (千葉)・
西田光夫 (大阪)
- S 46 後藤久夫 (兵庫)・千田 衛 (京都)・
松宮 徹 (東京)
- S 47 秋山雅義 (兵庫)・太田誠一 (京都)・
小澤 豊 (兵庫)
- S 48 檀浦貞行 (山口)・成宮 明 (大阪)・
安盛 善 (京都)
- S 49 閑納真一 (奈良)・木枝茂和 (茨城)・
日下部博昭 (京都)
- S 50 長田守弘 (東京)・長岐 滋 (岡山)・
盛林茂夫 (兵庫)
- S 51 中筋和行 (兵庫)・深野 明 (奈良)・
本城正朗 (兵庫)
- S 52 尾上正剛 (兵庫)・小島敬良 (大阪)・
藤山一成 (神奈川)
- S 53 北川聡一 (兵庫)・竹ノ内壮太郎 (京都)
- S 54 尾崎永一 (兵庫)・坂口保彦 (大阪)・
富田栄二 (岡山)
- S 55 奥田 寛 (奈良)・姫田 篤 (兵庫)・
宮地 豊 (千葉)
- S 56 岡田俊治 (大阪)・竹内芳裕 (滋賀)・
羽田英夫 (栃木)
- S 57 三宅俊也 (兵庫)・矢辺保行 (奈良)
- S 58 池内清晃 (兵庫)・永瀬 豊 (和歌山)・
疋田 理 (山梨)
- S 59 平 弘二 (三重)・浜本成久 (京都)
- S 60 鈴木 洋 (神戸)・洲崎章弘 (京都)・
村上弘記 (神奈川)
- S 61 栗村隆之 (兵庫)・粉川良平 (神奈川)・
二股一郎 (京都)
- S 62 川上浩司 (京都)・佐成弘毅 (兵庫)・
篠原健治郎 (兵庫)
- S 63 加賀邦彦 (大阪)・久保木 孝 (福岡)・
村田健史 (愛媛)
- H 元 柴田 豊 (大阪)・望月正人 (大阪)・
鳴海一雅 (群馬)
- H 2 内山雅史 (埼玉)・畑 善裕 (京都)・
三輪雅彦 (和歌山)
- H 3 佐藤利勝 (愛知)・高嶺研一 (東京)・
能勢幸嗣 (神奈川)
- H 4 佐部利誠司 (長崎)・福谷和久 (兵庫)
- H 5 廣門泰樹 (福岡)・八十 格 (奈良)・
雪本 徹 (大阪)
- H 6 安威俊重 (兵庫)・阿部健一郎 (長崎)・
松田好史 (京都)
- H 7 井尾賢司 (神奈川)・泉 祐志 (静岡)・
古賀 響 (神奈川)
- H 8 笹田義幸 (茨城)・塩瀬隆之 (在学中)・
平澤 拓 (在学中)
- 監事 池上 詢 (S 33, 福井工業大学教授)
植木 努 (H 元, コ-ワ総合会計事務所代表)
- 常任幹事
関西支部長
永井 将 (S 31, 日立造船(株)顧問)
- 会長指名幹事
森川龍一 (S 25, 森川テクノ・マネジ代表)
- 地区代表幹事
(関西) 三津田恒夫 (S 46, 大阪ガス(株))
(関東) 熊澤正博 (S 43, (株)日立製作所)
(中部) 伊勢清貴 (S 53, トヨタ自動車(株))
- 大学側幹事・副幹事
(総務) 大谷隆一 (S 37)・箕島弘二 (S 54)・
田中和人 (H 6)
(名簿) 熊本博光 (S 44)・M. Ektesabi Ali (S 52)・
本田善久 (S 53)
- (関西支部)
松久 寛 (S 45)・榎木哲夫 (S 56)・
松原 厚 (S 60)
(広報) 牧野俊郎 (S 47)・中部主敬 (S 56)・
齋藤元浩 (H 8)
- (会計) 塩路昌宏 (S 50)
(ホ-ム^ -ジ^)
小寺秀俊 (S 54)・泉井一浩 (H 8)

関西支部の設立について

京機会関西支部が5月21日の京機会総会において設立されました。地域活動の特性を生かし、多方面で活躍している会員各層毎あるいは各層間の交流を図るために、親睦交流、情報・知識に関する交流を行うことによって、人的ネットワークの拡大を図るのが目的であります。具体的には従来の京機九日会から続いている新年会、会員会社訪問を軸とした異業種交流会、大学の教官を囲んで最新の先端技術に関して懇談する産学交流会を企画しており、本紙別項の通りスタートする予定です。下記の支部長などの役員と12幹事企業の

評議員によって運営されます。事業へのご意見やご協力いただける方がございましたら、三津田または松久（Tel. 075-753-5225, matsu@prec.kyoto-u.ac.jp）まで、ご連絡願います。

関西支部役員（敬称略）

支部長 永井 将（S31, 日立造船顧問）



副支部長 松久 寛（S45, 京都大学）
福森康文（S32, リキッドガス）
森田正彦（S45, 三菱重工）
監事 森川龍一（S25, 森川テクノ・マネジ）
事務局長 三津田恒夫（S46, 大阪ガス）
事務次長 松尾宗雄（S46, 三菱重工）
評議員 椿本敏弘（S42, 大阪ガス）
海老名庄司（S49, 川崎重工）
神田 剛（S44, 神戸製鋼）
田井雅彦（S42, 島津製作所）
弘中勝正（S47, 住友金属）
西田光男（S45, 住友電工）
平田誠計（S43, JR西日本）
原田英雄（S41, 日立造船）
浦田嘉人（S43, 松下電器）
田保栄三（S45, 三菱自動車）
橋谷道明（S55, 三菱重工）
山西健一郎（S50, 三菱電機）

関西支部設立に際しての会長からの祝辞

いよいよ京機会関西支部設立となりましたことをお祝い申し上げます。やむを得ない公務のため、本目、出席できないことをお詫びいたします。

一昨年に京機会の規約が改正され、活動の活発化の一つとして支部の設立がうたわれてから、支部設立に向けての相談をしてまいりました。設立に至るまでの関係者のご尽力に心から敬意を表します。

京機会は卒業生に交流の場を提供し、卒業生と教室の接触を積極的に仲立ちするものであります。親交を深める場に加えて、現職の方々の仕事に関わりのある情報の交換の場であることも必要かと思われま

部のこれまでの行事に加えて、関西支部で考えておられるきめ細かい企画を通して、情報の交換が盛んになり、若い会員の参加型の支部となって行くことを願っております。

設立に向けての永井支部長始め役員の方々、幹事会社のご努力が、第二、第三の支部設立につながっていくことを願って、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成11年5月21日

京都大学機械系工学会会長
嶋本 譲

関西支部「異業種交流会」,「産学交流会」のご案内

京機会関西支部は本紙別項に記載の通り去る5月21日の設立総会をもって設立されました。その設立総会において承認されました活動方針・行事企画に従って、“地域活動の特性を生かし、多方面で活躍している会員各層毎あるいは各層間の交流を図る集会事業を中心とした事業”を具体的に展開して参ります。その事業は“単なる親睦交流にとどめず、情報・知識に関する交流も行うことによって、人的ネットワークの拡大を図り”、会員の方々ひいては広く社会・経済の発展に貢献するものでありたいと考えます。

そこで、この度、まず、「異業種交流会」と「産学交流会」を下記の要領で発足させることとしました。いずれの交流会もその成否は、会員の方々にいかに積極的に数多くしかも継続的に参加していただけるかに掛っております。このため今回二つの交流会の参加者の募集におきましては、一定期間、連続的・固定的に参加していただける会員（以下“登録会員”といい、その期間は当面1期2年とします）を募集し、原則としてその登録会員を中心に会を運営していきたいと考えております。

各会員におかれましては、当交流会の趣旨ならびに運営方法の考え方に格別のご理解を賜り、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。なお、関西支部以外の京機会会員の方々の参加も歓迎いたします。

また、当交流会の開催内容については、“京機会ホームページ”

<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>
に掲載していく予定です。

1. 異業種交流会

- ・主要会員企業の関西地区の事業所において順次開催する。
- ・事業所(工場、研究設備等)の見学、研究開発事例の発表、製品の紹介ならびに討論を通じて交流を図る。
- ・交流を深めるために懇親会を開く。
- ・参加者は予め登録するものとする。異業種交流会の

主たる狙いが「会員の人的ネットワークの構築と交流」にあるため、特に40歳台前後の会員の参加を期待する。

- ・会費は 無料とする。ただし、交通費、懇親会費(3千円程度)についてはご負担願う。
- ・平成11年度には、下に案内の2回の会合を開催する。平成12年度以降には毎年度4回程度の開催とし、毎年3月に計画決定する。

2. 産学交流会

- ・大学の教官有志を囲む専門分野別の先端工学・技術に関する懇話会とする。
- ・当面「材料工学」、「熱流体工学」、「設計・製造・機素・振動」の3分野について開催する。
- ・会合は1回半日で、2～3件の講演(話題提供)と討論を行う。
- ・交流を深めるために懇親会を開く。
- ・参加者は予め登録するものとする。産学交流会の主たる狙いが「同じ専門分野の研究者・技術者の人的ネットワークの構築と交流」にあるため、年齢は問わないが、若手会員の積極的な参加を期待する。
- ・会費は 無料とする。ただし、交通費、懇親会費(3千円程度)はご負担願う。
- ・第1回会合については、下に案内のとおり。第2回以降の内容については、第1回会合の折に懇話会ごとに計画決定する。
- ・大学側メンバーは別表(p.7)のとおり。

3. 第1期登録会員の募集

(1) 募集人数

京機会会費を納入の会員を対象とし、次の人数を募集する。関西支部以外の京機会会員の参加も歓迎する。申し込み多数の場合は先着順とする。

異業種交流会 80名程度
産学交流会 各専門分野50名程度

(2) 締切りなど

第1期登録会員申込締切: 10月22日

申し込み先:

京機会事務局 段 智子
Tel. 075-753-5183, Fax. 075-771-7286
E-mail: keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp

問い合わせ先

支部事務局長 三津田恒夫(大阪ガス)
支部副支部長 松久 寛(京都大学)

関西支部 異業種交流会

平成11年度 第1回会合

日時 平成11年12月3日(金) 13:00~19:00
会場 ダイハツ工業(株)本社工場
内容 工場見学
講演 「軽自動車の開発と展望」,
「電気自動車の開発」と質疑応答
懇親会

関西支部 異業種交流会

平成11年度 第2回会合

日時 平成12年1月21日(金) 13:00~19:00
会場 大阪ガス(株)開発研究部
(大阪市此花区西島)
内容 「エネルギー・都市生活・環境の関する新材料の開発動向と展望」についての講演, 見学と質疑応答
懇親会

関西支部 産学交流会

平成11年度 第1回会合

日時 平成11年11月27日(土) 13:30~18:00
会場 京都大学工学研究科物理系校舎
312, 313, 314教室

材料工学懇話会

高効率発電プラントにおける材料強度面の課題
三菱重工高砂研究所 佐近淑郎(S47)
高齢化発電設備の健康診断
京都大学工学研究科 大谷隆一(S37)

熱流体工学懇話会

表面張力が関係する現象とそのマイクロソへの応用
京都大学工学研究科 吉田英生(S53)
空調用熱交換器の開発
三菱電機先端技術総合研究所 加賀邦彦(S63)

設計・製造・機素・振動懇話会

社会・経済環境の変化と伝統機械技術の将来
京都大学工学研究科 久保愛三(S41)
電機メーカーにおける流体騒音
三菱電機先端技術総合研究所 中島伸治(S61)
懇親会

材料工学懇話会

- *大谷隆一 材料強度学, 耐熱工学, 破壊工学
- 箕島弘二 機械材料, 環境強度, 複合材料
- 小寺秀俊 塑性加工, 計算力学, 電子材料
- 北村隆行 分子動力学, 計算力学, 電子材料
- 多田直哉 破壊力学, 高温強度, 欠陥評価
- 今谷勝次 連続体力学, 損傷力学, エネルギー材料
- 星出敏彦 破壊と疲労, 構造用金属, セラミクス

熱流体工学懇話会

- *吉田英生 熱システム工学, 熱エネルギー変換, 反応熱工学
- 鈴木健二郎 伝熱工学, 流体熱工学, 乱流力学
- 牧野俊郎 熱流体物性学, ふく射伝熱, 光応用計測
- 塩路昌弘 燃焼レーザ計測, 燃焼シミュレーション, 反応動力学
- 小森 悟 流体工学, 環境流体力学, 乱流輸送現象
- 脇坂知行 熱システム工学, 内燃機関, 燃焼シミュレーション
- 中部主敬 伝熱工学, 流体熱工学, 乱流力学
- 松本充弘 分子動力学シミュレーション, 非平衡熱力学
- 石山拓二 内燃機関, 燃焼制御, 燃焼排出物生成機構

設計・製造・機素・振動懇話会

- *久保愛三 機械要素, 設計, 歯車
- 垣野義昭 工作機械, 精密加工, 計測制御
- 松久 寛 振動工学, 機械騒音, 生体力学
- 榎木哲夫 システム工学, デザイン論

！同封のはがきのご返送を！

同封のはがきは、来年度早々に発行予定の名簿のデータとなるものです。秋季大会へのご出欠にかかわらず、ぜひ、ご返送下さい。
(京機化名簿担当幹事)

<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>
インターネット 京機会議ホームページのご案内
<http://mech-server.mech.kyoto-u.ac.jp/kikai/>

京 機 会

総会・大会のご案内/ご報告

- 平成11年度京機会議春季大会・総会のご案内
- 1998年秋季大会報告
- 1997年度総会・大会報告

会員のみなさまへ

- 京機会議からのお知らせとお願い
- クラス会・同窓会などの開催通知 **NEW**
- 昭和45年卒業ほーむページ
- H3学部卒業生(H5院卒)の方々へ
- 京機21会
- 旧塑性工学研究室同窓会
- 会員からのお便り紹介

<ミュンヘン工科大学訪問記>

- 五十年会 **NEW**

機械系教室

- 新研究科 - 機械教室の発展 -
- 京都大学機械系工学教室百年記念式典
(平成9年6月18日)

京機会議会則・役員名簿

- 京機会議会則(H9.11.21改正)
- 京機会議役員名簿 **NEW**

リンク

- 機械工学専攻・機械物理工学専攻ホームページ
- 精密工学専攻ホームページ
- 第二世紀事業ホームページ

最終更新 平成11年8月20日

なお、京都大学のホームページはつぎのとおりです:

<http://www.kyoto-u.ac.jp/>

そこからは、京都大学の諸部局のページはもとより、他の国立大学のホームページに進むこともできます。

《会員のページ》

京機九日会午餐会のご案内

京機九日会午餐会は昨年より発足し、今年は年5回2月から10月までの偶数月の9日に、堂島の中央電気倶楽部で開催しております。来年も同じ方法で行う予定です。

過去7回の平均参加人数は18名で、和気あいあいの雰囲気の中で卓話や懇談を楽しんでおります。京機会から幹事の矢部先生や松久先生が必ずご出席下さり、教室の話題の時には質問や意見が続出して特に盛り上がり、皆の関心の高さを示しております。

平日の午餐会という性格上、時間に少しは余裕ができた年齢層の方々のご参加が多く、現在は昭和20年代・30年代に卒業された方々が主力となっており、昭和10年代の大先輩も沢山おられます。

関西在住の方々のご参加をお勧め致します。

(幹事 尾谷博敏)

京機21会の諸行事 (S21)

(1) 地区会 下記の地区在住者の懇親例会を開催しています。地区外の方々の参加を歓迎します。詳細は幹事にお問い合わせ下さい。

京滋地区会幹事: 鬼頭 勇 氏

阪神地区会幹事: 千原一夫 氏

関東部会幹事: 坂西 順 氏

(2) 1999年クラス会 (全員の懇親会です)

日時: 1999年11月17日(水)16:00から1泊

場所: 広島県 宮島

連絡・問い合わせは幹事 坪井 正 氏 まで

五十年会(昭和25年卒業同窓会)第53回例会報告

幹事 松浦清一、小沢和雄

日時 1999年6月17日(木) 12時～15時

場所 大阪弥生会館3階(大阪市北区芝田2-4-53)

参加者 合田、清水、下間、田中、谷、長尾、野木、三雲、森川、大和、松浦、小沢(合計12名、敬称略、順不同、以下同じ)。

内容・経過

1. 12時～13時:

乾杯に続いて会食懇談(フリートーキング)ワイワイガヤガヤと、にぎやかなことでした。

2. 13時～14時:

お勉強の時間……話題提供: 森川。テーマ: 『熟年

と情報社会』(パソコンの活用): 欠席の方には資料同封。松浦所感: 高齢者は情報社会では弱者と思っていたが、むしろ逆の立場にあることに気付く。パソコンで何が出来るか、パソコンを身につけるための心がけ、取り組み方、更にはその問題等、短時間に示唆に富んだ豊富な内容を頭に詰め込んだ。電話やデジカメの機能すら使い切っていない現実から考えると『女子高生が使う10万円位の単純パソコンをまず手なづけることだ』と感じた。

3. 会計報告:

前回の50年会の案内状に同封。第52回例会(偲ぶ会98年11月19日 於 法真寺)までの収支を報告して承認を頂いた。

4. 五十年会の運営について:

欠席の方には資料同封。① 不必要な規制は無い方が良いと言う基本的な考えの下に資料をベースに検討。結果として4)の見舞金の項を削除した(☆情報入手、判定が難しいという理由で)。② 連絡網について: 会員の現状、アクティブ度を考慮して地区中心のメンバーを下記の通り決めた。幹事より同メンバーに連絡、連絡を受けたメンバーは同地区の全員に伝える。

東京: 三雲、太田。横浜伊豆: 真部。名古屋: 石川。奈良三重: 木本。高槻: 森川、野木。大阪: 下間。南大阪: 小沢、合田。宝塚西宮神戸: 長尾、大和。西部: 渡邊。

5. 次期幹事:

幹事は2名ずつで2年交替の事を確認。次期幹事は、森川、島、の両氏に決定。当日欠席の島兄には松浦より状況説明し了承を得た。

6. 次回例会:

11月第三木曜日は京機会がある為下記の通り決定した。1999年11月11日(木) 開催時刻及び場所は次期幹事が決定する(註: その後 新幹事の都合により11月12日(金)に変更した)。

報告事項にもありますが、53回例会にて幹事を森川兄、島兄、に引き継いで頂く事になりました。在任中は色々と御協力を頂き誠に有難うございました。心からお礼を申し上げます。次期幹事には種々お世話になりますが、宜しく願い致します。

追伸: 6月17日の会合には御出席頂き有難うございました。又森川兄には貴重な話をして頂き心から感謝申し上げます。当日の写真余り良く撮れて居ませんが、同封致しますのでご笑納下さい。

< p.12 に この会の記念写真 >

悟美会(今秋)開催のお知らせ (S28)

初秋の候ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、昨秋予告致しました悟美会46周年(京都)の開催日が近づいて参りました。当日の集合場所・時間などを、再度確認のためご通知申し上げます。なお、当日は開催直前に、記念撮影をしますので、集合時間に遅れないようお願い申し上げます。

日時 1999年10月30日(土) 17:30集合
場所 平安会館(京.上.烏丸通上長者町上ル(地下鉄烏丸線今出川下車 南へ徒歩約5分西側)嵯峨の間(2階)

会費 1万5千円(当日集めます)
宿泊 当夜の宿泊は、シングル6部屋予約済みとなりました。宿泊を申込みされた方は、チェックアウト時に7,969円(一泊和朝食つき税サ込)を各自お支払い下さい。なお、宿泊者のチェックインは16:00、チェックアウトは翌朝10:00です。チェックイン時には、悟美会員であることをお告げ下さい。

なお、出欠、宿泊予定等に変更のある方、並びに出欠が未定であった方は、下記まで至急ご連絡下さい。

連絡先 中川隆夫

平成11年度泰山会開催のご案内 (昭和27年入学/昭和31年卒業 同窓会)

下記により平成11年度の泰山会を開催します。多数ご参加下さい。今回は、昨年9月琵琶湖畔にオープンした西日本屈指のオペラ劇場(びわ湖ホール)の見学と、秋深まる石山寺の散策及び瀬田川畔の臨湖庵での懇親会を行います。

開催日 10月22日(金) 集合時間 13:45
集合場所 びわ湖ホール2階メインロビー(大津市打出浜15-1) JR大津駅下車 徒歩15~20分 Tel.077-523-7133
懇親会 臨湖庵(大津市瀬田2-13-26, Tel.077-545-4128) 17:30~20:00
会費 12,000円
世話役 赤松映明
谷口博美

この機会を利用して、翌10月23日に有志の方によるゴルフコンペを予定しており、更なる懇親と健康増進をはかることにしています。

昭和43年卒同窓会

昭和43年卒業の同窓会を、平成11年4月24日(土)、日立金属高輪和彊館(東京都港区高輪)において、東京在住の幹事のお世話で行い、24名の参加者が楽しい時を過ごしました。来年は滝本正民君を主な世話役として名古屋で、再来年は広島で開催を予定しています。

幹事: 熊澤正博, 伊藤 隆, 馬淵普之,
近藤勝彦, 竹之下正隆

< p.12 に この会の記念写真 >

1970年卒同期会のお知らせ

みなさんお元気ですか。久しぶりに東京で同期会を開催いたします。11月20日(土)13時よりの予定です。場所は、決まり次第出席予定者には連絡いたします。出席していただける方は阪口までご連絡下さい。

旧塑性工学研究室同窓会

全員同窓会開催報告: 本年5月1日、京都リーガ・ロイヤルホテルで開催しました。出席者は研究室関係者52人、同伴夫人14人。欠席者からの「近況報告」と全員の名簿(Fax.番号とE-mailアドレスも掲載)を配布しました。名簿に関しての問い合わせ先は小寺秀俊氏。

研究室同窓会の地区会の設置について: 小人数による懇親会の設置を検討しています。地区別、年代別の会にすることを基本に考えていますが、勿論この枠を越えて参加して下さることは大歓迎です。ご意見、ご提案を頂き、それに応じた複数の懇親会を作りたいと考えています。まずは、地区は大阪、年代は還暦前後の人たちの会から始める予定です。

伝熱工学研究室OB会(第三回サバサバ会)のご案内 URL <http://orion.mech.kyoto-u.ac.jp/hthome/sava/>

日 時: 1999年12月25日(土) 15:00~20:00
会 場: 京大会館(Tel.075-751-8311)
幹 事: 須賀一彦
研究室: 中部主敬, 岩井 裕

森川龍一 (S25)

私共の同窓会の名称を五十年会と名付けた由来を御説明しましょう。

我々が京都大学へ入学した終戦後間も無い昭和22年(1947年)は、丁度京都大学創立50周年の年であった。大学内で簡単な祝典があった筈で今はその内容の全てを忘れたが、大学の中央講堂で当時の鳥飼総長の記念講演があり、「大学創立50周年はヨーロッパの多くの大学の歴史と比較して未だ極めて若い」と言われた事をハッキリと覚えている。

卒業の年、即ち昭和25年は丁度西暦1950年に当り、数字的に非常に印象の良い年だと思った。

上記の2つの数字50の縁で付けた名前だが、卒業後は毎年同窓会を続けて居り、若い頃は関西近郊の山の散策を行ったりしました。幹事は2人ずつで2~3年で交替しているが、何時頃からか年間2回は必ず会を開催する様になって今に到っている。然し前回の1999年6月17日が第53回と数えられているが、もっと多く

重ねている筈であり、何処かで回数勘定が違った様に思う。

卒業後2年半余り経った昭和27年末に、念願の「五十年会会報創刊号」をB4版4頁のガリ版刷りで発行しました。当時は同窓諸兄の通信連絡を集めてその原稿を見乍ら鉄筆と鑊で書上げる為に、相当な手数が掛かり、私はこの創刊号一つで根が尽きて終わってしまいました。現在の様にワープロやコピー機があればもっと続ける事が出来ただろうと思います。御参考の為に創刊号の第1頁の半分のみをホームページに掲載しますので、拡大してお読み頂ければ幸甚です。

卒業直後の第1回に幹事を勤めた私に50年経った今回再び幹事が回って来ました。今回は強力な助っ人畠君と一緒にです。

来年の2000年は卒業後50周年となり、光陰の早さに今更乍ら驚くと共に、記念同窓会を計画して居ます。卒業直後の総員40名の中で既に鬼籍に入った方が9人となった。我々も順次後を追う訳ですが、残された人生を同窓相集い出来るだけ健康で有意義に過ごしたいと願っているこの頃です。

昭和27年12月

五十年会会報

A

五十年会会報

昭和27年12月
五十年会発行
編集責任者
森川龍一

はしがき

六月には諸君のお手許に届く筈の会報が、又も年の瀬が押しつまってやつと出来上った。毎回會員諸兄に頭を下げるのに腹が痛つてしまひさうだ。早いものである。もう三度目の正月を迎えようとして諸兄の声にも社会に聲分もまれて来た運まじさを匂えぬやうになりました。曾つては講義室に居眠つてゐたにも今は均しく二言目には忙しうと言はれる。考へて見たまえ。昔は寮、下宿に寝たり、午の陽ざしのさし込む万草床の中で、麻雀ぶくれのした眼をして立ちのぼる紫煙をボー然と眺め暮らしたのに、今は早や望をいたぐいで出で、宛に毎、始業のサイレン時には会社の門に駆け込み、労働入時間を勤め上げた上に残業までして稼いでいる。

ベクザ学生が緊張のサラーマんに動向した当座のもどかしさも、どうやら生活を板について来ると共に色づいて黄色い嘴も少しづつ、褐色に固つて行くやうだ。やがてはモバまで生えて来るだろう。嘴が固まるまでには虫も酒り易く、卒業生十指に余る人達が痛を得てよく休まれた。ま、なほ幼世に自己の限られた精神力と体力が固い壁につま当つて苦しむ事が幾度もあるやうし、卒後に機関が故障を起すやうし、窮乏の借道は凡庸なり、神経は儘くより鈍らざる方に余程努力を要するものと見えて、去る者は日に疎し、と言われぬものだ。会の便りに全く反

たより

荒木三郎
長らく御無沙汰致しました。貴兄も益々元気で御精勵の事と存じます。

さて五十年会の会費を送付しようと思ひつ、つい今日まる延引して申訳ありません。

暑さの折極健勝をお祈りします。五十年会の諸兄に宜しく。
八月二日

門野敦郎
孫蔵、初夏の候となり、この所氣持のよい晴天が続いて居ります。当地へ来てからすでに一年、会社の内情も幾分分つてくると共に、この度も厚くなりまた、汗田舎のこゝろで何かあると、工場内やら町の噂になり易く、うっかり何も出来ません。ことにも対女性問題に理しまねばなりません。

エジニアアなんてものは余りエ場のリクリエーションなんかと様のある方ではないのだが、こゝでは事務所に若くは人の少いで、小生は年々莫尤に駆り出されて、何のかのとやらされて居ます。現在では、若くは人だけ、会を振り回すやうな花見やうで楽しんで居ります。

小生はレコード音楽鑑賞会を創り、会社にレコードを買はずして、週一回コンサートを開いて居ます。同好の士が少く何とかなり少し腐敗して居ると思つて居

さて仕事の方は新工場の建設の爲、とても忙しく毎日仕事に追はれて居る有様です。今の所、新橋火災ライテクスの生産に力玉集中して居ます。

諸兄と離れて居ると、文通も充分出来ず、筆不精の故御覽察を小沢和雄

小沢存じず水から御禮返し打過さ甲誤ありません。小生の住所の坂越町が今度赤穂町と合併して赤穂市となり、又国鉄の支線の赤穂線が誕生し相生より運送することになりました。従つて幾分か田舎の単地さから救ひ出されたといつた状態です。会社の方も漸くその勢に慣れ何とかがビロンを卒業せんものと思氣込んで居ります。ではこれにて失礼、諸兄の御発展を心より御祈り致します。

残念ながら大会に参上出来ません。お出席の諸兄に何卒宜しく。
合田英之

兄日は大衰れ致しました。出席を棄し、女にして居ります。御返事か運れてアつて誠に申訳ありません。会運営に御協力下さつて居る兄に却つて御迷惑をお掛けするに至業じ不筆をこつた次第

会誌への消息は后日にお願ひ致し度へ

石取敬一、 柳一報、 草々
Sakamoto, Syozi, nra, su
Osirase e arigato, Gakurei
sama, desu. 25 nichi ni wa
Haikiryu no yotei ga nite
Kara Kinute imasu node,
Kai e wa detaremasesen.
Mitsuechi ni yoroshiku. Aki
ni demo mata goisyo ni
Yama o otukitai mono to
omaimasu

Tkagoro no yosu, kaisyu
dearu aikamuzau Samiraga
na sekkei, Kaisyu o deka,
Esperanto to huiwa no

《教室から》

京都大学機械系工学教室第二世紀記念式典 のお知らせ

明治30年(1897年)に京都帝国大学が設置されたとき、最初に開設されたのは、理工科大学の機械工学科と土木工学科のわずかに2学科でありました。その年の9月に学生を迎え、授業が始められました。それから3年の後、明治33年(1900年)7月14日に、京都大学は、初めての卒業生を世に送り出しました。機械工学科の卒業生は11名、いまも"京機协会会员名簿"の先頭にお名前を挙げる方々であります。

いまにして思えば、当時の京都大学は、小さな大学でありました。また、9月入学7月卒業は、初年度の異例ではなく、当時の通則に従うものであったようです。ともあれ、小さな京都大学の機械工学科は、1900年7月14日に世に向けて発信を始めました。それから100年、大きくなった京都大学機械系工学教室は第二世紀めに一步を踏み入れようとしています。

つきましては、100年めの2000年7月14日にお会いしましょう。第二世紀事業会が卒業生と企業のご厚意を得て進めつつある"第二世紀事業"の一環である標記式典の日時・会場を定めましたので、お知らせします。

日時 平成12年(2000年)7月14日 午後
会場 京都ホテル

教官の異動

平成11年5月以降の教官の異動はつぎのとおり:

多田直哉 講師: 昭和62年京大物理工学科卒業, 平成4年京大大学院博士後期課程物理工学専攻研究指導認定退学, 本学助手を経て, 本年8月1日講師に昇任(大学院工学研究科機械物理工学専攻材料強度物性工学講座材料強度学分野勤務)。研究のメインテーマは「耐熱材料の破壊と損傷の評価」。熱き心と冷静な判断をモットーに奮闘中。



学生の就職内々定状況 (統計)

平成12年3月に工学部物理工学科(機械システム学コース)を卒業予定の学生と大学院工学研究科機械系工学専攻MCを修了予定の学生を対象とする就職説明会を、昨年より早めの5月20日に開催し、昨年より漸減の337社からの求人情報を提供した。翌21日の京機春季大会(学生と先輩との交流会)においては、実社会で活躍中の若い卒業生から、会社での仕事のようす、心構えなどの有益な情報がもたらされた。厳しい経済情勢を反映してか、求人数を昨年より減らした会社も少なからずあり、また、本年は求人を見送るとのご挨拶のあった会社もあった。就職説明会の時期を早めたことについては、大方の企業の方々からご賛同が得られた。8月末日現在における会社別の就職内々定者数(調査段階のもの)を下の表に示す。

なお、大学院エネルギー科学研究科と情報学研究科にも機械系工学関連のMC学生がおり、同日現在それぞれ[], ()名の内々定者がある。

富士写	1	豊田織	[1]
ガイシ	2	テソソー	1 [1] (1)
住友電	1	川 重	4 [1] (1)
コマツ	2	石川島	3 [1]
住友機	[1]	日産自	[1]
クボタ	2	トヨタ	5 [2] (1)
三菱重	4 [1] (1)	三菱自	2
村田機	(1)	マツダ	(1)
日 立	4	ダイハツ	1
東 芝	1 [1]	本田技	2 [1]
三菱電	2	セイコー	(2)
オムロン	1	豊田中研	1
NEC	1	任天堂	(1)
富士通	2 (1)	NTT	3
松下	3 [1]	NTTコミュニカ	1
シャープ	1	東 電	1
ソニー	1	中部電	1
アトバントス	(1)	大ガス	[1]
ローム	1	日本原電	1
松電工	1		
キャノン	1		
シスメクス	1		
日IBM	(1)		



後列左より 小沢・森川・松浦・下間・合田・大和
前列左より 清水・谷・田中・野木・長尾・三雲

五十年会例会のひとこま



昭和43年卒同窓会のひとこま

編集後記

ある雑誌に、「最近の京大の学生は「いかにも京大生」を嫌って「それでも京大生」と見られることを望んでいる」との小論がありました。その筆者の分析を思えば、岩波文庫の1行ずつを読破して'教養'を獲得し、あるいはその積もりになって、'教養'を'専門知識'の上位に価値づけた往時の「いか京」はもうすっかり消えて、いまの子は、京大の学生証を手に入れば、あとは'普通の'並の子になって、'教養'も'専門知識'も適当に、ひと当りよく、「それでも京大生」と見られたがっている、とのこと。

'教養'の'下着'は 見せないのではなく 見せられない、主張は'とくに'ないと言うものの、実は'全く'ない、今後ともに突出しないようにして、'5時'になると元気になるのでしょうか。"そんな(いかにも理想型って)奴ぁおらんでえ" は そうですが、心許ない限りです。

5月に熊本に行った折に、五高の赤レンガを訪ねました。建物が学校ではないと思うものの、その重厚な建物を巡ると、いろんな昔を想いました。寮歌の武夫原は、本館の左手にありました。たぶん 1900年に作られたその歌は、"20世紀に光あれ"と歌っています。気負うことのない「それ京」くんは 21世

紀に なにを と歌うのでしょうか？

機械系工学専攻の建物の8階には、われわれが「ふだん」京機会の部屋」と呼ぶ一室(806室)があります。京機会の番号'075-753-5183'に電話すると その部屋に掛かります。女性の声で応答があったら、彼女が京機会事務局の 段 智子 さんです↓。ピンポンパン体操の明るいお姉さんの表情で、ふしぎに常識のできたよいひとです。よろしくお願いたします。

牧野俊郎



京機会の 段 智子 さん

京機会事務局 (広報担当)

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院工学研究科機械系工学専攻

牧野俊郎 S47 Tel./Fax.075-753-5265, E-mail: a50141@sakura.kudpc.kyoto-u.ac.jp

段 智子 Tel.075-753-5183, Fax.075-771-7286, E-mail:keikikai@mech.kyoto-u.ac.jp